

写真でつづる1959年

たたかいはあしあと

あわただしく過ぎた一九五九年だった。力強く闘い、たくましく前進しつづけた一年であつた。

闘いに明け闘いに暮れそして、また闘いの中で一九六〇年を迎えた。

一九六〇年のスタートにあたって、過ぎし一年間の闘いの足跡を、ここに振り返ってみることにした。

安保改定を軸とする首切り・企業合理化などの一連の闘いは、新しい年にもちこまれたのである。

昨年は首切りと安保改定阻止に対決する血みどろな闘いの連続であり、全国の労働者が決起したのである。

そして今年こそは、この力を結集して、さらにつきへの飛躍のステップを、力強く踏みしめ前進しよう。

われわれのすすむ道は決して平坦ではあるまいしかし、その道がどんなにけわしくても、われわれの未来は明るくゆたかにひらけているのだ。

戦争と失業をなくせ



1月…「戦争と失業に反対する大行進」出発

賃金をあげろ



2月…企闘・賃闘ともに団交決裂し実力行使に入る

クビ切りは認めぬ



3月…六千名の首切り案出る。クビ切りひっこめろ

明るい政治を



4～6月…平和闘争。この闘いで25名の政治局員当選

メーデー万才



5月…第30回メーデー、大牟田・荒尾で六万人が参加

賃金をはらえ



7月…本社裏で遅払い首切り、遠藤分会長問題で抗議

平和を守れ



8月…5千キロの平和大行進大牟田を13日通過する

安保・合理化をつぶせ



8月…安保改定・企業合理化反対市民大会